

会員各位

一般社団法人日本船用工業会
専務理事 安藤 昇

日本財団による「海ごみゼロウィーク」2020への参加募集について（お願い）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当工業会の事業運営につきましては、日頃より格別のご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年度、当工業会は日本財団が主催する「海ごみゼロウィーク」プロジェクトの趣旨に賛同し、会員各位へご協力を依頼したところ、別紙1のとおり、全国13地区、20グループ、95企業、1,410名の参加の下、大規模なイベントとして海ごみ拾い活動を実施することができ、日本財団からも当会の協力に対して評価をいただきました。ご参加いただいた会員企業に対して、改めて深く感謝を申し上げます。

今般、「海ごみゼロウィーク」2020がスタートいたしましたので、当工業会は、アクションプラン2020に基づき、引き続き本年度も別紙2の要領で同プロジェクトに参加します。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、多くの会員企業に本趣旨にご賛同いただき、ご参加くださいますよう宜しくお願い申し上げます。新型コロナウイルスの影響が見通せない状況ではありますが、清掃活動は通年で実施可能であり、前広に計画をご検討いただければ幸いです。また、各企業で従前より実施されている清掃等の地域貢献活動を本プロジェクトの下で重ねて位置付けることも可能です。

昨年度の参加企業・グループに対しては事務局から計画を調整させていただきますが、新規に参加いただける企業におかれては、ご意向を4月28日までに下記担当者までご連絡ください。

なお、5月30日～6月8日の間の全国一斉活動については、現時点では開催予定であるものの、新型コロナウイルスの今後の状況によっては中止・延期等もありますので、下記担当者又は日本財団のサイト (<https://uminohi.jp/umigomi/zeroweek/>) でご確認ください。

敬具

添付物：

- 別紙1：令和元年度 JSMEA「海ごみゼロウィーク」の活動状況一覧
- 別紙2：日本財団「海ごみゼロウィーク」2020への参加実施要領
- 別添：日本財団「海ごみゼロウィーク」ガイドライン（HP 抜粋）

【本件に関するお問い合わせ先】

- 加藤昌克（調査役）(kato@jsmea.or.jp)
- 高見早苗（調査役）(takami@jsmea.or.jp)
- 鈴木隆之（調査役）(tsuzuki@jsmea.or.jp)

以上

日本財団「海ごみゼロウィーク」2020 への参加実施要領

令和2年4月1日
(一社)日本船用工業会

1. 趣旨

日本財団の標記プロジェクトの趣旨に賛同し、当工業会の会員企業有志が「海ごみ拾い活動」に参画する。なお、同プロジェクトでは、海に関係するステークホルダーとして当工業会を含む船舶・マリン事業者の参画が期待されている。

2. 実施要領

実施時期

次の何れかの時期のうち、実施グループ・企業毎に定める適当な1日(活動時間は2時間以内を標準)

- ・全国一斉清掃活動の週間(海ごみゼロウィーク)

標記プロジェクトで示された5月30日(ごみゼロの日)~6月8日(世界海洋デー)の週間

- ・一年を通じた適当な時期

実施地区

会員複数社有志の参加が期待できる以下の候補地区又は会員企業単独で実施する場合は当該企業周辺地区の海岸・河川周辺ほか(内陸部を含む。)

東京、神奈川、大阪、兵庫、岡山、広島(広島市、尾道市)、山口、香川、愛媛、高知、長崎、佐賀等

実施形態

- 上記の各地区で、会員複数社の有志により「JSMEA〇〇地区 海ごみなくし隊」(仮称。JSMEAの文字を含み適宜設定可。以下同じ)を組織し、活動する。
また、上記地区又はその他の地域において、会員企業単独で「JSMEA 会社海ごみなくし隊」を組織して活動する。なお、各企業で従前より実施されている清掃等の地域貢献活動を本プロジェクトの下で重ねて位置付けることも可能
- 各地区の活動隊において、中心となる参加企業(リーダー会社)又は会員企業単独で実施する場合の代表者等による「隊長」を選任し、同隊長が活動を指揮する。会員企業単独で実施する場合も同じ。

3. 今後の進め方

事務局が昨年度の活動隊のリーダー会社、本年度新規に参加意向が示された企業等と連絡調整を図り、具体的な実施場所、実施日、参加目標人数等を調整し、各地区・企業での実施計画(様式1)を作成する。

必要に応じ関係地区の地方船用工業会にも参加協力を要請する。

日本財団の関連サイトに、各地区・企業の活動隊の実施計画を登録する。(目標:5月中旬頃)

各地区において、実施日までの間、実施場所の自治体等の管理者との調整その他の細部の実施要領を詰める。

実施に当たっての事前又は当日の注意事項等

- (1) リーダー会社等の隊長は、参加者にけがのないように、足元の悪い場所、危険な場所は避けるようにご案内ください。
- (2) 参加者は、隊長の指示に従って行動するようにお願いします。
- (3) 当日は、ブルーのグッズ（ズボン、Tシャツ、タオル、帽子、リストバンドなど）を身に着けてご参加するよう周知ください。
- (4) ごみ収集用のビニール袋（2種類）は、日本財団より、リーダー会社等へ事前を送付されます（参加人数分）。

実施報告の作成

各活動の終了後に、日船工事務局が日本財団のHPへ実施報告を掲載しますので、報告書（様式2）及び下記の活動時の写真のご提出をお願いします。

集合写真（1枚）

* 会社名などを記載した「のぼり」、「横断幕」などと一緒に撮影しても可能。

活動中のスナップ写真（2～3枚）

収集したごみ袋の山（1枚）（と一緒に撮影しても可能）

以上

(一社)日本船用工業会 御中

海ごみゼロウィーク活動2020の実施計画書

令和2年 月 日

会社名: _____
記入者: _____
電 話: _____
メール: _____

海ごみゼロウィーク2020実施計画

活動グループ名	J S M E A -
(フリガナ)	ジャスミア -
グループリーダー(隊長)の 役職・氏名	
(フリガナ)	
郵便番号	〒
隊長会社住所	
連絡窓口ご氏名/役職 (海ごみ現場担当者)	〇〇〇〇/総務部長
(フリガナ)	
電話番号 (海ごみ現場担当者)	
メールアドレス (海ごみ現場担当者)	
実施場所名	〇海岸
実施場所住所	〒
参加企業名等(予定) (企業単独で実施の場合は記 載不要)	A社(〇名) B社(〇名) C社(〇名)
参加予定者総数	

実施予定日	月	日 ()
開始予定時間	時	分
終了予定時間	時	分
一般参加者の可・不可	可	不可

《報告書送付先》

一般社団法人 日本船用工業会 海ごみゼロウィーク担当
加藤(kato@jsmea.or.jp) / 高見(takami@jsmea.or.jp)まで
鈴木(隆)(tsuzuki@jsmea.or.jp)

以上

(一社)日本船用工業会 御中

海ごみゼロウィーク活動2020の実施報告書

令和2年 月 日

会社名： _____
 記入者： _____
 電 話： _____
 メール： _____

1. 実施日時	〇月〇日 〇時〇分～〇時〇分
2. 実施場所(住所)	
3. 活動グループ名	
4. グループリーダー (隊長)の役職・ 氏名	
5. 参加企業名 (参加人数)	A社(〇名) B社(〇名)・・・
6. 参加者総数	
7. 回収ごみ袋数	可燃ごみ袋〇枚、不燃ごみ袋〇枚、PET〇枚、計〇枚
8. コメント	ごみ収集前日までに行った事前準備、実施場所の状況(天候を含めて) ごみ収集時の参加者の様子、今後の検討課題など、感想を自由に記載してください。
9. 報告書に添付する デジタル写真	集合写真1枚、ごみ収集時の様子が分かるスナップ写真3枚程度、収集したごみ袋を撮影した写真1枚を含め、写真のファイルを添付してお送りください。

《報告書送付先》

一般社団法人 日本船用工業会 海ごみゼロウィーク担当
 加藤(kato@jsmea.or.jp) / 高見(takami@jsmea.or.jp)まで
 鈴木(隆)(tsuzuki@jsmea.or.jp)

以上